

学校保健

The School Health No.161

(財)日本学校保健会

- こころとからだの健康増進事業
- 全国特別優秀校に選ばれて
- Q&A インフルエンザの予防接種について
- 60年度、身長、体重等の平均

~~~~~  
会報をよくするため、読者のご意見を求めています。お葉書をお寄せください。

## 学校保健のための学校・家庭・地域の協力

日本学校保健会副会長 尾花 茂

学校は地域社会から遊離した存在であってはならない。地域と学校を結ぶ絆は児童・生徒の家庭を介して確保されている。学校は学校保健の具体的諸事項を各家庭に理解してもらうことが先決である。

他方、生涯保健の確立、地域医療推進の声にも大局的な立場から理解をゆるがせにすべきではない。ここにおいて学校・家庭・地域の一体化が強調されるが、学校は教育の場、即ち目的社会であるかぎり、一般地域社会と軌を一にするわけにはいかない。この微妙なギャップを調整するのも学校保健会の大きな役割である。

しかしながら、学校保健実践の場は、あくまで学校現場であり、学校保健関係者は、そのよきアドバイザーに徹することこそ肝要である。このあたりの相互理解ならびに協力如何が、学校保健向上の鍵であることを銘記すべきではなからうか。



東京都港区西桜幼稚園で 撮影 石川行男委員

# こころとからだの健康増進事業の一例

こころとからだの健康増進委員会

委員長 (女子栄養大学 教授)

宮 坂 忠 夫

最近種々社会問題となっている、児童生徒の心と体をめぐる諸問題について、委託県モデル地区の要請に応じ指導助言を行うとともに、これらモデル地区の経験と成果をまとめる一方、①心の健康増進につながる体づくりに関すること、②漠然とした悩みや不安を抱えて保健室へくる児童生徒に、養護教諭等が的確に対処できるよう面接技法の指導に関すること、③問題行動をとる子や精神

的に問題を持つ児童生徒の指導に当る教諭、養護教諭を支えるための学校内体制づくりに関すること、④地域社会の協力を仰ぐことの必要なこと等について、地域の関係者や関係団体との連携のためのシステムづくりや、その方法に関すること、以上4部門の小委員会を設け、必要な参考資料を作成し、心と体の健康増進活動を全国に普及することを目的として本委員会が設置された。

## 大阪南港ポートタウンの場合

世帯数約8,200、人口約27,000の新しい住居地区であるが、その特徴はおよそ以下のとおりである。

1. 大阪市の旧住之江区中心部から約4km離れた海上にある人工島の中で1km<sup>2</sup>の面積を占めている。
2. ポートタウンは2つの橋で大阪市と結ばれていて、陸続きではない。
3. 住居地区は総て中高層住宅から成り、一戸建住宅はなく、また、周囲から完全に仕切られていて、周辺には種々の埠頭のほか、野鳥園、魚つり園、海水遊泳場等がある。
4. 住宅は賃貸、分譲、市営、公団のマンション群で、完成目標約1万戸の9割以上が出来ており、入居は昭和52年から始まった。
5. 地区内は原則として乗用車の乗り入れは禁止されていて、地区入口の駐車場に置くようになっている。
6. 地区には電柱がなく地下ケーブルである。各戸にゴミ空気輸送装置がある。CATVの用意がある(未使用)、排気ガス・振動・騒音の少ないニュートラム(モノレール)で旧住之江区と結ばれている等、新しい試みを取り入れた団地である。
7. 団地管理センター内にショッピング・センターがあり、4つの住区に店舗はない。
8. 住民は20~30才台の夫婦と子どもの核家族がほとんどであり、共働きは約4割。
9. 出生率が高く、乳幼児が多く、転入も多い。
10. 幼稚園と小学校は各住区に1つづつ(児童数平均1校約850人)、中学校は2校(生徒数1校約600人)で、他に高校が1校あるので、高校までの教育は団地内で受けられる。なお、現在、PTAがあるのは小学校1校だけである。
11. 住民のコミュニティ意識がよわいといわれているが、町(棟)単位の子供会はかなり組織されていて、1住区には子供会連絡協議会がある。一方、町(内)会・自治会は1住区を除き相当組織されていて、3住区には連合町会がある。

12. 行政の出先機関としては、区役所のサービスセンターのほか、警察の派出所、消防の出張所、郵便局等があるが、保健所関係のものはない。銀行は2行ある。
13. 医療機関としては、小児科1、内科5、外科1、産婦人科1、耳鼻科1で、絶対数が少なく、夜間救急診療所はない。
14. いわゆる大気汚染地域である。

### 〈現状と問題点〉

1. この地区の小学校の特色は、とにかく児童数が急増したことで、時には学年進行毎に1クラス増えたりした。急増の理由のほとんどは父親の転勤で、児童は全国各地から来ていてお互いに転出入に馴れているためか、例えば方言を使っても笑うことがほとんどなく、新入生に違和感がなく、むしろ一種の仲間意識があるように思われる。先生方もそのように教育している。そのような児童がいわばclosed communityで生活しているので、概して従順で、いじめや校内暴力のような問題はない。何か問題があっても、従来は話しあいで解決されて来ている。
2. 児童の健康上の問題
  - (1) 体格はよいが、筋力が劣るようで、汗を流して遊ぶ子が少ない。
  - (2) 団地内は"no car zone"で児童は交通の危険に馴れていないので、安全教育を行ってはいるが、外での交通安全が先生方にとって一番気になり、遠足ではこれがこわい。
  - (3) 物心両面でclosed communityで生活していて、そのまま高校まで行けるので、その先が心の面も大丈夫か気になる。
  - (4) 屈折異常の児童が多いが、団地内に眼科医師がいないので困る。また、近くに大きい外科病院や総合病院がないので困るなどがある。
3. 学校行事(例えば授業参観)などへの出席率は高いが、懇談会等まで残る人は少ない。

〈まとめ〉

- ① 南港地区の子どもたちには、一方で目や外傷の問題もあるが、最も重要なのは、この人工のclosed community に生活していて、どのようにして心身ともに強い子に育つか、あるいは育てるかということである。それには、すでに企画実施されている諸計画に加えて、運動・栄養・休養を基盤とする狭義の健康増進対策を強力に行う必要があると思われる。そしてこれは子どもだけでなく、例えば各棟・各住区、単位の運動にまで盛りあげることが望ましい。両親の多くは、まだ成人病年齢ではないと思われるが、この種の運動には関心があろう。
- ② この健康増進運動は、学校→PTA・子供会→

町会・各家庭へと進めるのがよいと思われる。子供会、町会ともかなり組織化が進んでいるが、組織化をしっかりとさせるためにも、この運動をすすめることは適していると思われる。

③ この運動は一種のコミュニティづくりといえるが、南港地区にかかわる各種行政当局や専門家団体全体による、いわば住民に働きかける側全体の横の連絡のための協議会が必要である。勿論、コミュニティづくりそのものは住民の力の結集によるのであるが、これを“上から”でなく、いわば adviser として援助するため、協議会事務局その他にいわゆるオーガナイザーを専門職として置くことがきわめて有効と思われる。

### 桐生市立南中学校 学校保健安全委員会を見学して

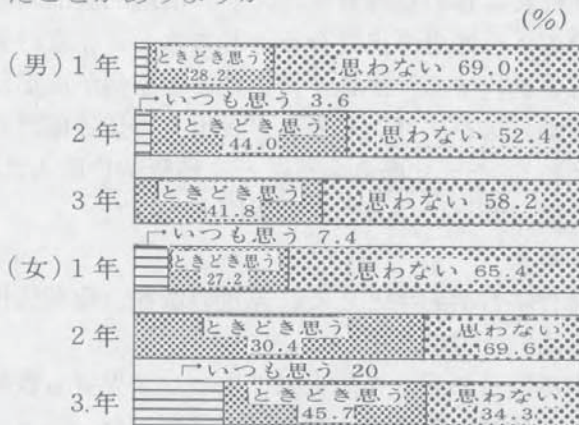
校内体制づくり小委員会委員長 大本邦嘉  
(東京都墨田区立錦糸中学校長)

南中学校を紹介しよう。規模は各学年4学級の12学級で、生徒数465名の中規模校である。学校の位置は桐生市の中心からは少し離れている。

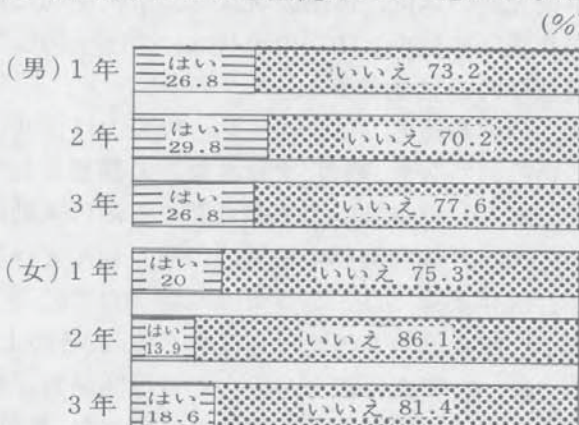
学校は今どき珍しい木造二階建の校舎である。広い校庭では、野球、テニス、バレーボールに熱中する生徒が印象的であった。

#### 悩み調査

問1 あなたは、病気以外で学校を休みたいと思つたことがありますか



問2 あなたのクラスで仲間はずれにされたりいじめられたりしている生徒がいますか。



「はい」と答えている生徒が12~29%いることについて「いいえ」の生徒が、無関心派なのか問題であり、今後の問題として学年におろして検討したい。

委員会では、う歯の治療状況と貧血検査の報告と保健室に来る生徒の悩み調査であった。協議は保健委員の発表を中心に参加の各委員の意見が出された。協議はかなりの盛り上がりを見せ、有意義な会であった。会の進行上から見て、できるだけ生徒の自主活動を重視しているように思えた。また、PTAの各委員からも意見が出され、関心の深さに感心した。

南中学校としての実践は、各学級での学級指導、学級会活動、道徳、安全指導の組織的活動と指導であった。現在、中学校で問題となっている「いじめ」や「非行」「登校拒否」等にも真剣に取り組んでる様子がよく分った。

研究の中心は、事例研究で、その研究がすぐ実践に役立つようにという意欲を感じとることができた。

今回の委員会のように理論的に深く研究するということが大切なことではあるが、それにも増して大切なことは、南中学校の生徒一人一人を、全職員の協力でどう変えて行くかと言うことだと思ふ。そのためには、教師が変われば生徒も変わるを大原則に、学級、学年、全校生徒を対象に行う集団場面の指導と、一人一人がもつ悩みや不安を、個別指導によってどこまで理解し、援助してやれるかが今後の大きな課題であろうかと思つた。

北から南から

## 健康優良学校

## 全国特別優秀校に選ばれて

島根県浜田市立宇野小学校校長 大崎 武 晴

## 1. 「小さな学校の大きな活動」を求めて

児童数30名、複式3学級の極小規模校、浜田市の中心部から、バスで20分、東南部の山ふところの静かな農村地帯にある。開校108年75年前の建築、一部二階建ての木造校舎は、“閑雅枯淡の美”をおもわせる古風な構え、運動場は、一周80mのトラックと周辺に手づくりの体力づくりコーナとしての運動施設を備えている小さな学校である。

この学校に赴任して、私は、極小規模、現環境の特性と利点は何かを、まず学校経営の基盤にした。そのためには、特性、利点を全職員、保護者と探り、掘り起して課題とし、全児童に投げかけ、児童一人ひとりの発意発想をとりあげ、本校の健康教育、活力ある学校づくりに着手した。

## 2. 豊かさと感動ある活動をめざす学校像

教師自らが豊かな心と健康な身体、生活や学習活動に意欲的な構えをつくる。

動を重視し、児童一人ひとりを大切に、心・体・頭の健康な学校にする。

## ● 1年次 心の健康づくり

教師自らが豊かな心と健康な体、生活や学習活動に意欲的な構えをつくる。

- (1) あいさつ(おはよう・こんにちは)が気軽に、しかも大きな声で、人より先にする。
- (2) はきものをきちんとそろえる。物事のけじめやたしかめをする。
- (3) 物を大切ににする。まず古い校舎を美しく磨きあげ若返らせる。

(1)は礼儀正しさ、人間関係を育て、(2)は、自立や主体を育てる。(3)は、価値と感謝することを体感させる。このことを心の健康づくりの基本と考え、学校から家庭、地域へと活動の輪を広げ、地域ぐるみの活動とした。

## ● 2年次 体・頭の健康づくり

意欲的(やる気)な構えができれば、つぎは、なかみの教育である。知的・良体的な健康教育である。



全校児童30名の躍動

極小規模校の利点として、学級内活動から全校活動へと活動の場を広げるゆとりの時間の活用(宇野小タイム)の活動である。教師のそれぞれの特技・特能を校長はじめ全職員がたえず、創造的な活動展開になるよう知恵を出し合う。もちろん、児童の発意発想を重視する。平素学習したことを個から集団へと活動の場を広げ、発表力・表現力に切磋琢磨の機会として、たえず磨き合うことを積極的に取入れ「教師、児童共に学び育つ活動展開」とした。

## ● 3年次

総合学習活動年として、児童の個性、個別化指導を集団的指導に集中した。

小規模校の利点を最大限に生かし、児童も教師も感動を体感する教育活動として展開した。

## I. 体の健康づくり

本校児童の体位、体格の現状は、全国平均に比して、身長はやや小、体格の現状は、全国平均して、細胸型傾向の児童が多い。

体力や運動能力では、走・跳・投の力は、共に優れている。持久力、筋力、柔軟性などの調整力も平均以上である。運動技能の水準も高く器用に運動をしていて楽しく体育活動に積極的に取り組んでいる。だが、三年前までは、こうではなかったとのこと。

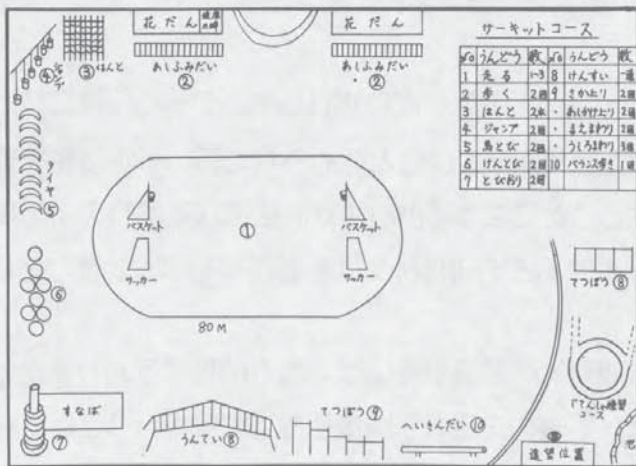
狭小な運動場と老朽化した校舎と施設、その上「井の中の蛙」で、児童に活力が乏しく自己開発力、“やる気”もない、小規模少人数校にありがちな、無気力、

無感動な子どもが多かった。健康教育に着手したのも、こほ実態をどう改革するかにあった。

教育は、感動する教育活動を展開することである。そのために、つぎのようにした。

- (1) 意欲的な活動を促がす施設、設備の生かし方、活用方法の創意工夫をする。
- (2) 児童・教師の活動の成果を認め、自己開発をさせる。
- (3) 運動の個別化・集団化をはかる。

その一例として下図の(サーキットコースによる活動)



- 手づくり施設を活用して、運動の多様化をはかる「できたぞ!!」カードの活用。
- 各運動のチャンピオン大会の開催。
  - ・体操(マット・とび箱・鉄棒・手具運動)
  - ・水泳
  - ・ロードレース

○部活動は全員選手となって活躍する、など。実践の一部ではあるが、個の活動を集団の活動としてとりあげていったことによって、能力・技能が高まってきた。

(保健管理、保健指導については略)

## II. 頭の健康づくり

自己表現力が十分でなかった実態から、全校発表する場を特設することによって、眠っている能力を自覚させる活動を、頭の健康づくりとした。学級内活動から、全校発表活動として児童も教師も共に学び育つ活動とし成果をあげてきた。

発表後、児童・教師が、感想・意見を交換しあって、個の発表を、集団の発表として盛りあげて、内容を充実させた。このことによって、一人ひとりの特性・能力の開発にもなって、意欲的で感動する活動となった。そして

- 研究の発表会
  - 朗読・暗誦の会
  - 集団音楽会
  - 誕生会
- など、自慢大会として、定期的実施した。

豊かな表現力、助け合う態度もでき、積極的な学習活動を展開してきた。

## 3. 教育力を広げるPTA活動

子どもの教育は、学校を核として、家庭・地域が一体となって教育力を高めることにある。そのために、学校が積極的に働きかけることである。

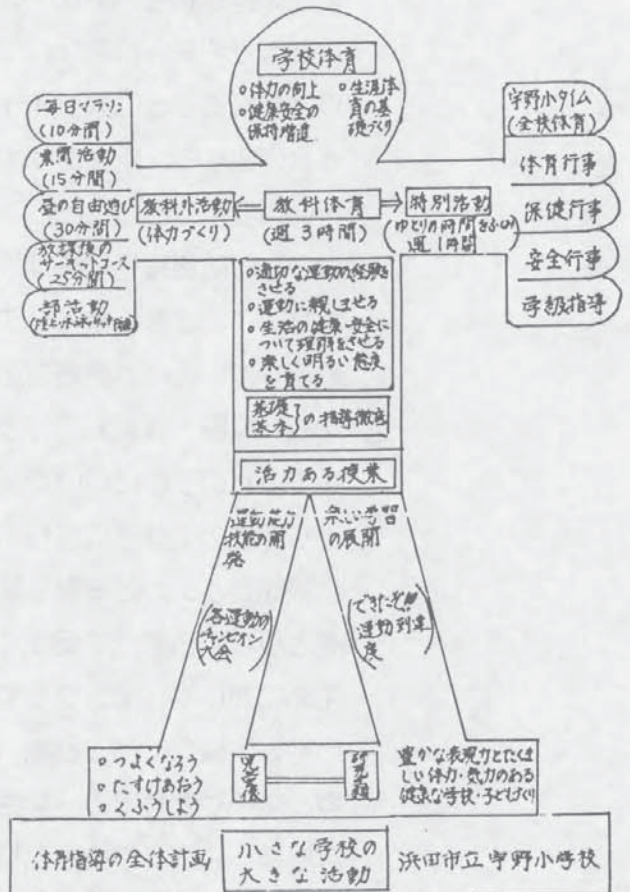
- (1) 学校教育方針を具体的に示し、理解と協力を求める組織活動づくりをする。
- (2) 教育活動に参加を呼びかける。
- (3) 学校を開放する。

この三点について、コミュニケーションをはかりながら、積極的に計画実践した。

《その一例》

- 学校保健委員会の議題は、児童、教師、PTAから提出しあって、実践活動に移す。
- 親子学習会を定期的実施する。
  - 親子生活体験学習
  - 親子・手づくり工作会
  - ふるさと学習会
  - 親子・ボランティア活動
  - 宇野町の健康の町づくり活動 など

老朽化校舎を若返らせ、子どもの健康な場づくりをして、真の健康教育について、教師、児童、親、共に努力する。



## Q & A — 学校保健活性化のための —

**Q** インフルエンザの予防接種は、保護者の要望が前提で行われるのか、また、学校で行う指導と管理はどうあるべきか。

**A** .....日本学校保健会理事 矢野 享

① 予防接種には、定期的予防接種と、インフルエンザが含まれる臨時の予防接種に分けられます。臨時の予防接種は、都道府県知事が必要と認められた時、予防接種を受けるべき者の範囲と期日を指定することになっております。法第六条臨時の予防接種) 従って実施の責任者は、実施者である市町村長又は都道府県知事が必要こととなります。

② 予防接種実施に当って、保護者(親等)の要望あるいは判断が前提で行われるのかという質問ですが、予防接種の適・不適の決定は予防接種担当医師が行うこととなります。

予防接種を受ける際、提出する「問診票(予診票)」には、児童生徒の主な既往歴や現在の健康状態が記入されることになっておりますが、そこに、保護者からの必要な情報が記載されなければなりません。その意味で、保護者の「要望、判断」が盛り込まれることとなります。しかし、これはあくまで参考情報ということになります。何故なら、例をあげますと、保護者から「是非予防接種を受けさせてほしい」という要望があったとしても、問診票からの情報、更に当日の児童生徒の健康状態から、予防接種担当医が「予防接種は避けた方がよい」と判断すれば、接種は行われないこととなります。このように保護者からの要望、判断は重要な参考情報であります。医師が最終決定を行うこととなります。

③ 学校(校長・養教)で行う指導管理については、文部省から「学校におけるインフルエンザの予防について」(昭和32年10月18日文初保第520号)に細かく判り易く出ておりますので参考にされるとよいと思います。発病した児童生徒が多くなれば、当然学級閉鎖といった問題も起きてきますが、その判断は、事前に学校医と十分な連絡をとりながら指示を受けてほしいと思います。また、この予防接種の時期は、児童生徒に対して、インフルエンザ(一般の風邪を含めて)を素材とした健康教育を行う絶好の機会であると思います。例えば、ワクチンの持つ意味、その予防対策と治療、学校や家庭での日常生活上の注意等は、「学校保健委員会」の恰好のテーマともなりましょう。学校医と相談してその有効な活用を図っていただきたいと思います。

## 日本学校保健会だより

### 昭和60年度 要望事項・研究課題について

昭和60年度全国学校保健協議大会については、前号(第160号)で報告しましたが、その後、当日口頭発表提安を含めて、提出されました38議題、および当日の協議内容等を受けて下記のように集約いたしました。(これをもとに議長団で検討し、成文化の上近日中に関係方面に提出いたす予定です。)

#### <要望事項>

1. 児童・生徒の健康診断の充実と強化
  - (1) 児童・生徒の心臓検診制度の確立について
  - (2) 学校検尿に尿糖検査を追加することについて
2. 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の待遇改善
3. 児童・生徒の心の健康問題に対する対応の充実
4. 教職員の学校保健に関する資質の充実と強化
  - (1) 教職員の精神衛生指導についての資質の向上
  - (2) 校長・保健主事等に対する研修の充実と強化
  - (3) 養護教諭の実技講習の充実
  - (4) 養護教諭養成制度の充実と強化
5. 教職員の健康管理の強化(特殊教育諸学校の教職員も含めて)
6. 学校保健活動の強化
  - (1) 学校保健委員会等の充実と強化について
  - (2) 養護教諭の全校配置の促進と、大規模校・特殊教育諸学校への複習配置について
  - (3) 学校歯科保健の充実と強化について

7. 教職員の健康管理の強化
8. 学校環境衛生検査の充実(検査機器の購入等について)

#### <研究課題>

1. 児童・生徒等の健康診断の充実と強化
  - (1) 健康診断検査項目の再検討
  - (2) 突然死につながる川崎病既往症のある児童・生徒に対しての管理について
  - (3) 児童・生徒の結核検査について再検討と健康診断及び予防接種実施方法の改善について
  - (4) 視力検査の適切な検査方法について
  - (5) 平衡機能検査の実施とその具体的な方法についての検討
2. 障害をもつ児童・生徒の保健管理  
特殊教育諸学校における児童・生徒の健康管理について
3. 学校保健組織活動の充実  
学校保健委員会の充実と強化について
4. 学校環境の安全強化  
学校等における遊戯施設の製造に対する安全基準について
5. 学校保健の充実と強化
  - (1) 肥満傾向のみられる児童・生徒の指導について
  - (2) 小学校における保健学習の教科書作成について

### 昭和60年度 年齢別 身長・体重・胸囲・座高の平均値及び標準偏差

| 区分 |     | 身長 (cm) |       | 体重 (kg) |      | 胸 囲 (cm) |      | 座 高 (cm) |      |      |
|----|-----|---------|-------|---------|------|----------|------|----------|------|------|
|    |     | 平均値     | 標準偏差  | 平均値     | 標準偏差 | 平均値      | 標準偏差 | 平均値      | 標準偏差 |      |
| 男  | 幼稚園 | 5歳      | 110.6 | 4.62    | 19.1 | 2.48     | 56.4 | 2.92     | 62.6 | 2.76 |
|    | 小   | 6       | 116.4 | 4.77    | 21.2 | 3.04     | 57.8 | 3.29     | 65.2 | 2.74 |
|    |     | 7       | 122.1 | 5.03    | 23.7 | 3.67     | 59.9 | 3.73     | 67.7 | 2.84 |
|    | 学   | 8       | 127.5 | 5.21    | 26.5 | 4.42     | 62.2 | 4.31     | 70.1 | 2.89 |
|    |     | 9       | 132.6 | 5.48    | 29.5 | 5.25     | 64.6 | 4.98     | 72.3 | 2.97 |
|    | 校   | 10      | 137.7 | 5.82    | 32.8 | 6.25     | 67.1 | 5.61     | 74.4 | 3.09 |
|    |     | 11      | 143.2 | 6.68    | 36.5 | 7.33     | 69.6 | 6.17     | 76.7 | 3.53 |
|    | 中   | 12      | 150.0 | 7.77    | 41.8 | 8.42     | 72.8 | 6.48     | 79.9 | 4.32 |
|    |     | 13      | 157.7 | 7.86    | 47.4 | 9.08     | 76.2 | 6.46     | 83.7 | 4.50 |
|    | 学   | 14      | 163.8 | 6.90    | 53.0 | 9.28     | 79.9 | 6.41     | 87.0 | 4.08 |
|    |     | 15      | 167.5 | 5.92    | 57.9 | 9.49     | 82.9 | 6.35     | 89.3 | 3.50 |
|    | 高   | 16      | 169.2 | 5.67    | 60.0 | 9.08     | 84.7 | 6.10     | 90.3 | 3.22 |
|    |     | 17      | 170.2 | 5.60    | 61.5 | 8.79     | 86.1 | 5.92     | 90.8 | 3.18 |
| 女  | 幼稚園 | 5歳      | 109.8 | 4.57    | 18.7 | 2.45     | 55.1 | 3.05     | 62.1 | 2.71 |
|    | 稚   | 6       | 115.7 | 4.72    | 20.7 | 2.97     | 56.4 | 3.32     | 64.7 | 2.70 |
|    |     | 7       | 121.4 | 5.04    | 23.2 | 3.55     | 58.5 | 3.76     | 67.4 | 2.79 |
|    | 学   | 8       | 126.9 | 5.36    | 26.0 | 4.31     | 60.8 | 4.36     | 69.8 | 2.95 |
|    |     | 9       | 132.6 | 5.87    | 29.2 | 5.21     | 63.4 | 5.06     | 72.3 | 3.19 |
|    | 校   | 10      | 138.8 | 6.53    | 33.1 | 6.35     | 66.6 | 5.79     | 75.2 | 3.59 |
|    |     | 11      | 145.5 | 6.64    | 37.8 | 7.20     | 70.4 | 6.25     | 78.5 | 3.80 |
|    | 中   | 12      | 150.9 | 6.02    | 42.9 | 7.55     | 74.7 | 6.19     | 81.6 | 3.63 |
|    |     | 13      | 154.4 | 5.42    | 46.8 | 7.29     | 77.5 | 5.65     | 83.4 | 3.18 |
|    | 学   | 14      | 156.3 | 5.09    | 49.8 | 6.99     | 79.7 | 5.36     | 84.5 | 2.90 |
|    |     | 15      | 157.0 | 5.01    | 51.9 | 7.23     | 81.3 | 5.47     | 85.1 | 2.80 |
|    | 高   | 16      | 157.4 | 4.97    | 52.7 | 6.89     | 81.8 | 5.17     | 85.2 | 2.81 |
|    |     | 17      | 157.6 | 4.98    | 52.8 | 6.71     | 82.2 | 5.02     | 85.1 | 2.82 |

(注) 年齢は、昭和60年4月1日現在の満年齢である。

文部省調査統計課

【訂正とお詫び】 前号(第160号)の新春座談会の記事で、2頁の山西先生の発言の5行目、中学校は小学校の誤りでした。訂正してお詫びいたします。

# 育ちざかりのひと粒!

体力をつけ健康を保つ

## カワイ肝油ドロップ



製造発売元 **河合製薬株式会社** 東京都中野区新井2-51-8



どちらかひとつをお選びください。

エームスの尿潜血・蛋白質同時検査試験紙。

尿中潜血・蛋白質・pH同時検査用試験紙

**キッドステックスⅢ**

尿中潜血・蛋白質・ブドウ糖・pH同時検査用試験紙

**マコビステックスⅢ**

**マイルス・三共株式会社**

東京都中央区銀座1丁目9番7号 〒104 ☎(03)567-5511

販売元:

**三共株式会社**

東京都中央区銀座2丁目7番12号 〒104 ☎(03)542-3511



一瞬の遅れが大事につながることも...  
学校内で突然循環器系や呼吸器系の発作を起し、呼吸困難に陥る生徒が多くなっています。こういう場合、対応の遅れが大事につながります。いざという時のために、保健室にO<sub>2</sub>パックを常備しておくで安心です。救急車が来るまでの応急用としてお役立てください。

だから、保健室に安心パック。

**M ミドリ安産株式会社**  
本社/東京都渋谷区広尾5-4-3 〒150  
電話/東京(03)442-8271(代)

軽量で安全、操作も簡単。

**O<sub>2</sub>パックA型**

- 使用時間/12分(1回限り使い捨て)
- 酸素流出量/3.0l/min
- 酸素総流出量/36l以上
- 重量/800g ●寸法/径90×高さ250mm

医療用具承認番号(59B)  
第389号(医家及び家庭向)

標準小売価格 **8,800円**



清潔で安全な学校清掃管理は

教室・廊下(木床)に

体育館(木床)に

**ペンギン**  
SCシステムで!



- SCフロアキーピング
- 塗るだけでピカピカ。
  - 滑らないので安全。
  - 水性タイプで清潔。



- SCジムコンディショナー
- ウレタンコートされた木床の手入りに。(タストコントロール)

**ペンギンワックス株式会社**  
大阪市東成区東中本3-10-14 〒537 TEL.06 (976)1451  
札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・高松・福岡

(推薦:日本学校保健会)

※型録ご希望の方は、SCS係宛お申し込みください。

## “ふだんの予防で、元気な毎日”まず手洗い!!

殺菌消毒用 **シャボネット石鹸液** ユム

日本学校保健会推せん No.632

精製ヤシ油を原料にした殺菌、消毒用石鹸液で、手洗いのあといや～な臭いが残りにませんので喜んでお使いいただけます。シャボネット容器に入れ、水で7~10倍にうすめてお使いください。

サラヤ株式会社 TEL(06)797-2525

東京サラヤ株式会社 TEL(03)458-1515

〈本会報は、拠出金と、本会への船舶振興会助成金により作成しました〉